

## 南房総市男女共同参画市民意識調査票

■男女平等に関する考え方についておたずねします。

問1. あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてあなたの考えに**最も近いものをひとつずつ選んで**、番号に○をつけてください。

	優遇されている	男性が非常に優遇されている	どちらかといえば男性が優遇されている	平等	どちらかといえば女性が優遇されている	女性が非常に優遇されている	わからない
(ア)社会全体で	1	2	3	4	5	6	
(イ)家庭のなかで	1	2	3	4	5	6	
(ウ)職場のなかで	1	2	3	4	5	6	
(エ)学校教育の場で	1	2	3	4	5	6	
(オ)政治の場で	1	2	3	4	5	6	
(カ)法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6	
(キ)社会通念・慣習で	1	2	3	4	5	6	

■男女共同参画に関する用語についておたずねします。

問2. 次にあげる言葉のうち、あなたが見たり聞いたりしたことがあるものはどれですか。

次の中から**該当するものをすべて選んで**、番号に○をつけてください。

1. 男女共同参画社会基本法
2. 配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)
3. ワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)
4. 男女雇用機会均等法
5. 女子差別撤廃条約
6. ポジティブ・アクション(積極的改善措置)
7. 性差医療(性差に基づいた医療)
8. ジェンダー(社会的文化的につくられた性別)
9. 見たり聞いたりしたものはない

■家庭生活と職業についておたずねします。

問3. あなたは現在、結婚していますか。**ひとつ選んで**、番号に○をつけてください。

1. 結婚している(未婚だがパートナーと暮らしている方を含む)     
 2. 離別・死別     
 3. 未婚

(問4へ)

問4. 問3で「1. 結婚している」とお答えの方に伺います。あなたのご家庭では、現在、家事などの日常的な仕事は、主にどなたがしていますか。また、あなたはどのような仕事の分担が理想的だと考えますか。(ア)～(セ)それぞれについて、あなたの考えに最も近いものをひとつずつ選んで、番号に○をつけてください。

		主に夫が行っている	主に妻が行っている	夫婦とも同じくらいで行っている	主にその他の人が行っている	子どもや高齢者はいない
現在の仕事の分担	(ア) 食事の支度・あとかたづけ	1	2	3	4	
	(イ) 掃除・洗濯	1	2	3	4	
	(ウ) 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4	
	(エ) 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	
	(オ) 乳児・幼児の世話 (現在、または過去に)	1	2	3	4	5
	(カ) 子どもの学校行事等への参加 (現在、または過去に)	1	2	3	4	5
	(キ) 高齢者の世話(介護) (現在、または過去に)	1	2	3	4	5
理想と考える仕事の分担	(ク) 食事の支度・あとかたづけ	1	2	3	4	
	(ケ) 掃除・洗濯	1	2	3	4	
	(コ) 食料品・日用品等の買物	1	2	3	4	
	(サ) 役所等への用事・書類の作成	1	2	3	4	
	(シ) 乳児・幼児の世話	1	2	3	4	5
	(ス) 子どもの学校行事等への参加	1	2	3	4	5
	(セ) 高齢者の世話(介護)	1	2	3	4	5

問5. あなたは、一般的に女性が職業をもつことについて、どのように考えますか。

次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 女性は職業をもたない方がよい 2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい 3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 4. 子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい 5. 子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつ方がよい 6. その他( ) 7. わからない
--

問6. あなたは、今後、男性が家事・子育て・介護・地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家庭間でのコミュニケーションをよくはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 国や地方自治体などの研修等により、男性の家事や子育て、介護等の技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための、仲間(ネットワーク)作りをすすめること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )
12. 特に必要なことはない

問7. 一般的に、男女が共に仕事と家庭を両立していくためには、どのような環境整備が必要だと思いますか。次の中から三つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 育児・介護休業制度を充実させること
2. 管理職の意識、代替要員の確保など、制度を利用しやすい職場環境を整備すること
3. 育児・介護休業中の賃金や手当などの経済的支援を充実すること
4. 地域や職場内の保育所、学童保育の整備、保育時間の延長など保育内容を充実すること
5. 病児保育を充実させること
6. 在宅勤務やフレックスタイム制度など、柔軟な勤務制度を導入すること
7. 残業を減らすなど、年間労働時間を短縮すること
8. パートタイマーなど非正規職員の労働条件を改善すること
9. 男女が共に仕事と家庭を両立していくことに対して、家族など周囲の理解と協力があること
10. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )
11. わからない

■防災・災害復興対策についておたずねします。

問8. あなたは、防災・災害復興対策に、女性の視点に配慮した対応がとられる必要があると思いますか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 必要がある
2. どちらかといえば必要がある
3. 必要ない
4. どちらかといえば必要ない
5. わからない

問9. あなたは、防災・災害復興対策で女性の視点に配慮して取り組む必要があると思うものは何ですか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 避難所の設備(男女別トイレ・更衣室、防犯対策など)
2. 避難所運営の責任者に女性が配置され、被災者対応に女性の視点が入ること
3. 乳幼児、高齢者、障がい者、病人、女性(女性用品など)に対する備えやニーズの把握、支給する際の配慮
4. 災害時の救援医療体制(診療・治療体制、妊産婦をサポートする保健師・助産師の配置)
5. 被災者に対する相談体制
6. 対策本部に女性が配置され、対策に女性の視点が入ること
7. 防災計画・復興計画策定過程、防災会議に女性が参画すること
8. 特にない
9. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )
10. わからない

■少子・高齢化についておたずねします。

問10. あなたは、出生率が低下している原因は何だと思いますか。次の中から三つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 子育てに経費がかかりすぎる
2. 子育てと仕事を両立させる社会的な仕組み(雇用条件・保育等)が整っていない
3. 女性の高学歴化や社会進出により結婚年齢が上昇した
4. 子どもは少なく産んで、十分手をかけて育てたいという人が増えた
5. 子どもより仕事や余暇等を充実したいと考える人が増えた
6. 結婚しない人が増えた
7. 出産・子育てに対する男性(夫)の理解・協力が足りず、女性(妻)の精神的・肉体的負担が大きい
8. 住宅事情が悪い
9. 楽をしたい、子育てが面倒という人が増えた
10. その他( \_\_\_\_\_ )

問11. あなたは、ご自分の老後について、不安に思うことがありますか。次の中から三つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 働きたくても仕事がないこと
2. 配偶者(パートナー)に先立たれること
3. 子どもが世話してくれるかどうかわからないこと
4. 適当な話し相手がいないこと
5. 適当な趣味がないこと
6. 介護してくれる人がいるかどうかわからないこと
7. 生活費のこと
8. 健康のこと
9. 住居のこと
10. その他( )
11. 特に不安はない
12. 考えたことはない

問12. あなたが高齢になって、もし介護が必要になった時はどうなされますか。現状のことも含めてひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 配偶者(パートナー)に世話をしてもらう
2. 子どもや子どもの家族に世話をしてもらう
3. その他の親族に世話をしてもらう
4. 友人・知人に世話をしてもらう
5. ホームヘルパー(家事援助者)に世話をしてもらう
6. 老人ホーム(介護つき)に入る
7. 病院に入院する
8. その他( )

■教育についておたずねします。

問13. あなたは、子どもの教育における男女平等の意識についてどう思いますか。

次の(ア)～(ウ)のそれぞれについてあなたの考えに最も近いものをひとつずつ選んで、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえば そう思う	どちらかといえば そう思わない	そう思わない	どちらともいえない
(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てる方がよい	1	2	3	4	5
(イ) 性別にとらわれず、男の子も女の子も炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけることが必要である	1	2	3	4	5
(ウ) 女子しか(男子しか)受けられない授業の科目があってもよい	1	2	3	4	5

■女性に対する人権問題についておたずねします。

問14. あなたは、次の女性に対する問題についてどのように思いますか。次の(ア)～(キ)のそれぞれについてあなたの考えに最も近いものをひとつずつ選んで、番号に○をつけてください。

	そう思う	どちらかといえ ばそう思う	どちらかといえ ばそう思わない	そう思わない	どちらともい えない
(ア)相手の意に反する性的嫌がらせ(言動)はすべてセクシャル・ハラスメント(セクハラ)だと思う	1	2	3	4	5
(イ)ささいなことまでセクハラと言うのは、職場の人間関係をギクシャクさせると思う	1	2	3	4	5
(ウ)女性のヌード雑誌など女性の体を商品のように扱うのは、女性への人権侵害だと思う	1	2	3	4	5
(エ)金銭等を介する援助交際は女性への人権侵害だと思う	1	2	3	4	5
(オ)女性が望まない妊娠をしてしまうのは、はっきり意思表示できない女性自身に問題があるからだと思う	1	2	3	4	5
(カ)女性が望まない妊娠をしてしまうのは、相手の意思を尊重しない男性に問題があるからだと思う	1	2	3	4	5
(キ)男性が女性に暴力を振るうことは、女性を力で支配する人権侵害だと思う	1	2	3	4	5

問15. あなたは、職場や地域、学校などでセクシュアル・ハラスメントを受けたことや見たことがありますか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 受けたことがある	2. 見たことがある
3. 受けたことも見たこともない	4. わからない

■社会活動等への参画についておたずねします。

問16. 平成25年4月1日現在の南房総市の審議会等への女性の登用率は「10.8%(397名の委員中43名が女性)」となっております。このことについてどのように思いますか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 現状でよい
2. 女性がもう少し増えたほうがよい
3. 男女半々ぐらいまで増えたほうがよい
4. 女性の方が多いい審議会があってもよい
5. 性別にこだわる必要はない
6. その他( )
7. わからない

問17. 次にあげる地域活動の中で、あなたが「現在、参画している(事業の運営に関わるなど)活動」はどれですか。次の中から該当するものをすべて選んで、番号に○をつけてください。

1. 町内会・自治会、青年団・婦人会・老人クラブでの活動
2. 保育園・学校等の保護者会・PTA 活動、子ども育成会活動
3. NPO、ボランティア団体などでの活動
4. 趣味・スポーツ、教養・学習・文化に関する活動
5. 子育て・子どもの健全育成に関する活動
6. 男女平等や女性問題について学習する会など男女共同参画に関する活動
7. 消費者問題に関する活動
8. 医療・社会福祉分野での奉仕活動
9. 自然保護・公害防止など、環境問題に関する活動
10. 国際交流・国際協力・国際平和に関する活動
11. 観光・地域の活性化に関する活動
12. 防犯・防災分野での活動
13. その他(具体的に: \_\_\_\_\_ )

■南房総市の施策についておたずねします。

問18. 男女共同参画社会の実現に向けて、南房総市はどのようなことに取り組むべきだと思いますか。次の中から三つ選んで、番号に○をつけてください。

1. 性暴力など女性の人権擁護事業の充実
2. 生涯を通じた女性の健康支援対策の充実
3. 性犯罪、ドメスティックバイオレンス等の被害者救済・支援体制の充実
4. 女性や男性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、習慣などを見直すための広報啓発事業(講座・講演会・情報提供)の充実
5. 学校における男女平等教育の推進
6. 働きたい女性の就労支援(講座・情報提供)の促進
7. 仕事と子育て・介護を両立するために必要な公的サービスの充実
8. 男性の家庭参画支援(講座・情報提供)の充実
9. 男女平等な就労環境整備にかかわる啓発事業
10. 市の審議会などへの女性委員の積極的登用
11. 地域活動やボランティア活動の場の充実
12. 女性団体・女性リーダーの育成
13. 市役所内の男女共同参画の推進
14. その他( \_\_\_\_\_ )
15. 特に南房総市が取り組むべきことはない

■今までお伺いしたことを統計的に分析するために、あなた自身のことについておたずねします。

F1 あなたの職業は次の中でどれにあたりますか。ひとつ選んで、番号に○をつけてください。

自営業主	1. 農林漁業(農業、林業、畜産業、漁業などの自営主)
	2. 商工サービス業(商店、飲食店、理髪店、修理業など)
	3. 自由業(弁護士、開業医、芸術家など)
自営業の家族従業者	4. 農林漁業(農業、林業、畜産業、漁業など)
	5. 商工サービス業(商店、飲食店、理髪店、修理業など)
	6. 自由業(弁護士、開業医、芸術家など)
勤務者	7. 管理職(民間会社・団体・官公庁の課長級以上、大学の講師以上、学校の教頭以上)
	8. 専門・技術職(技術研究員、勤務医師、看護師、教員、保育士、美容師など)
	9. 事務職(一般事務員、営業員など)
	10. 労務職(一般工員、建築作業員、運転手など)
	11. パート、アルバイト、内職など
	12. フリーター
無職	13. 専業主婦・専業主夫
	14. 学生
	15. その他の無職(年金、金利生活者など)
その他	16. その他 上記1～14までに該当しない方は具体的に
	( )

F2 あなたの性別はどちらですか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 男性	2. 女性
-------	-------

F3 あなたの年齢はおいくつですか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 20～29歳	2. 30～39歳	3. 40～49歳
4. 50～59歳	5. 60～69歳	6. 70歳以上

F4 南房総市のどちらにお住まいですか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. 富浦地区	2. 富山地区	3. 三芳地区	4. 白浜地区
5. 千倉地区	6. 丸山地区	7. 和田地区	

F5 お子さんはいますか。次の中からひとつ選んで、番号に○をつけてください。

1. いる	2. いない
-------	--------

男女共同参画に関してご意見がありましたらお書きください。

★最後までご記入いただきまして、誠にありがとうございました。

同封の返信用封筒で、7月19日(金)までにご投函ください。